



ULVAC REPORT

第120期 事業報告書 2023年7月1日～2024年6月30日

ULVAC

証券コード：6728

経営基本理念

アルバックグループは、互いに協力・連携し、
真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、
産業と科学の発展に貢献することを目指す。

2050年にありたい姿

真空技術で世の中のためになる価値をパートナーとともに生み出し、
人と地球の未来に貢献し続けている企業

〈経済成長・社会的豊かさ〉最先端の技術開発でより安全・安心、
かつ豊かで便利な社会の実現に貢献する

〈人の幸せ〉すべての人が幸せな生活を送るための社会づくりに貢献する

〈環境〉地球にやさしく持続可能な社会づくりに貢献する

Vision 2032

未来につながる「可能性の場」であり続ける

マテリアリティ

- 真空技術をコアとしたイノベーションの創出・共創の推進
- 多様な人財の育成と活躍推進・レジリエントな組織づくり
- バリューチェーンにおける人権尊重・責任ある行動
- 持続可能な地球環境への貢献

At a Glance

連結決算ハイライト



決算に関する詳細情報は当社ウェブサイト「株主・投資家情報」からご確認ください。



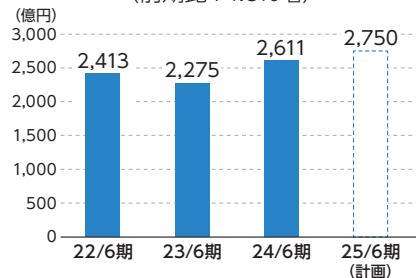
受注高

2,582億円
(前期比4.4%増)



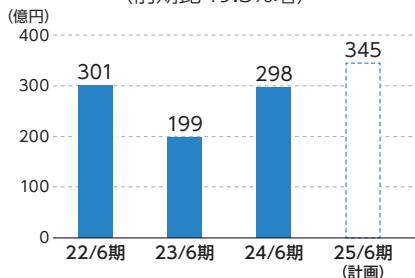
売上高

2,611億円
(前期比14.8%増)



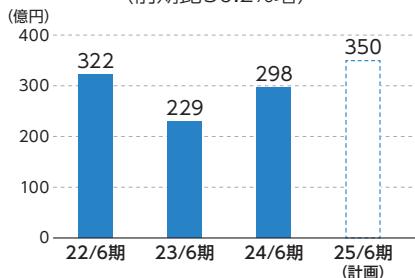
営業利益

298億円
(前期比49.3%増)



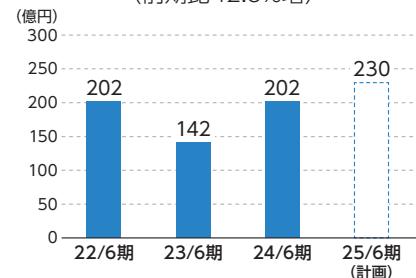
経常利益

298億円
(前期比30.2%増)

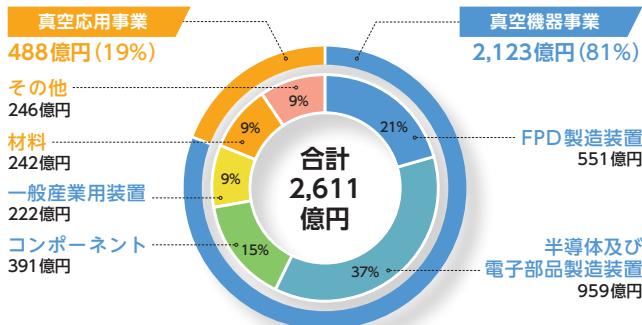


親会社株主に帰属する当期純利益

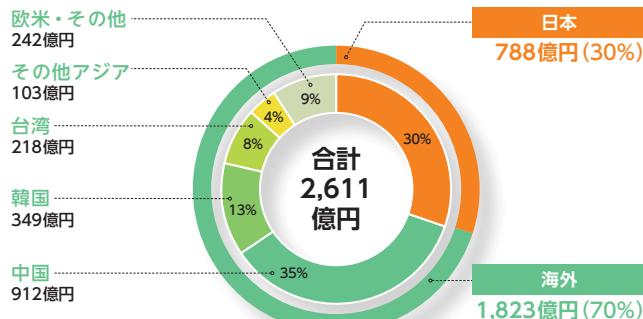
202億円
(前期比42.8%増)



事業別売上高 (2024年6月期)



地域別売上高 (2024年6月期)



各項目数値の四捨五入により、合計値が一致しない場合があります。

持続的成長とより高い収益性を目指し、真空技術による社会的価値を創造します。

代表取締役社長
岩下 節生

2024年6月期の事業実績

顧客の設備投資の回復・拡大により
2024年6月期の業績は計画を大幅に上回り、
売上高、売上総利益率ともに上場来最高水準
となりました。

当社グループを取り巻く2024年6月期の事業環境は、まず、半導体業界では、生成AI等への期待を背景とした半導体需要拡大が見込まれたことに加え、地政学的リスク等への対応として世界各地で半導体工場の新増設が進められました。次に、エレクトロニクス業界では、グリーンエネルギー政策等に基づくEV導入促進政策の継続的進展等に伴うパワーデバイスや各種電子デバイスの技術革新や増産のための投資拡大とともに、中国

においては、エレクトロニクスの国産化政策に基づく投資も継続しました。そして、フラットパネルディスプレイ (FPD) 業界では、ITパネルが液晶から有機ELへ転換する過渡期にあり、大型基板の有機EL投資が期待されました。また、産業用電池業界においてもEVバッテリーの小型大容量化および安全性の向上等による量産投資の本格化の兆候が引き続き認められました。

このような事業環境下において、当社グループの2024年6月期の事業成績は、受注高、売上高及び、営業利益ならびに経常利益とも計画を大幅に上回りました。

2024年6月期の受注高については、当社グループが成長ドライバーと位置付ける先端ロジック・メモリが2024年6月期の下期より回復に向かい、パワーデバイスやEVバッテリーの受注も増加しました。また、コンポーネントや材料関連の受注が増加したこと等により、前期実績を110億円上回る2,582億円(前期比4.4%増)となり、売上高は当社上場来最高水準の2,611億円(同14.8%増)となりました。

当社グループの2024年6月期の利益面については、売上高の増加に加え利益率の高い製品の売上割合が増加したため、売上総利益率は前期の29.5%から上場来最高水準となる30.9%へ上昇し、営業利益率は前期の8.8%から11.4%へと大きく改

善しました。その結果、営業利益298億円(前期比49.3%増)、経常利益298億円(同30.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益202億円(同42.8%増)となり、ROEも前期の7.3%から9.7%へ上昇しました。

3年間の中期経営計画の目標達成への取組み

当社グループでは、「真空技術をコアとしたイノベーションの創出・共創の推進」「多様な人財の育成と活躍推進・レジリエントな組織づくり」「バリューチェーンにおける人権尊重・責任ある行動」「持続可能な地球環境への貢献」という当社グループが取組むべき重要課題(マテリアリティ)を策定しています。そして、このマテリアリティに取組むため、2024年6月期を初年度とする3年間の中期経営計画では、「真空技術による社会的価値創造」と「利益・資本効率重視の経営」を基本方針とし、重点戦略として、「成長事業における製品競争力の強化」「グローバル生産性の向上」「経営基盤の強化」を定めました。その上で、当該中期経営計画の最終年度である2026年6月期の当社グループの業績目標を、「売上高3,000億円」「売上総利益率35%」「営業利益480億円(営業利益率16%)」「営業キャッシュ・フロー(3年間累計)630億円」「ROE14%」としています。



中期経営計画の初年度である2024年6月期の実績は、前述の通り単年度計画を大幅に上回る業績となりました。引き続き、中期経営計画の業績目標達成を目指し、特に、「モノづくり力強化」の施策として製品企画力と戦略購買力を更に強化することにより、計画的生産体制をより拡充させることで生産性向上に繋げ、売上総利益率の更なる改善を目指します。

なお、成長ドライバーを取り巻く環境と当社グループの取組みについては、まず、メモリ・ロジックに関しては、顧客の投

資は回復傾向にあり、当社では未参入の工程への参入等により、着実な成長を目指します。次に、各種電子デバイスに関しては、パッケージングや μ OLED（マイクロ有機ELディスプレイ）等への顧客の投資継続が見込まれます。更に、パワーデバイスに関しては、足元ではEV市場の成長が鈍化の影響をうけてSiC（シリコンカーバイド）ウエハの8インチ化への顧客の本格投資が遅れていますが、当社装置の市場シェアが未だ低い地域への拡販を強化し、売上増加を目指します。そして、バッテリーに関しては、EVバッテリーの新たな集電体材料への顧客の投資が2026年6月期以降に本格化する見込みであり、正極集電体として使用されるアルミ両面蒸着膜のフィルム幅の拡張による生産性向上や、負極集電体として使用される銅両面蒸着膜への置き換えへ対応により、市場シェアの増加を推進していきます。

2026年6月期には、これらの成長ドライバー全体で2023年6月期比1.5倍の受注高を目指します。

2025年6月期の業績の見通し

中期経営計画の2年目にあたる2025年6月期の単年度目標は、「受注高2,700億円(前期比4.6%増)」「売上高2,750億円(同

5.3%増)」「営業利益345億円(同15.9%増)」「経常利益350億円(同17.5%増)」「親会社株主に帰属する当期純利益230億円(同13.7%増)」と、更なる増収増益を目指すものとしています。また、「売上総利益率32.4%」「営業利益率12.5%」「ROE 10.1%」も目標値としております。

当社グループを取り巻く事業環境に一部不透明感がありますが、メモリ・ロジックへの顧客の投資の回復やITパネル用有機EL投資の本格化等の機会を捉え、更なる受注増加に努めてまいります。また、有機EL向けの蒸着装置では、当社グループの製品であるクライオポンプが広く採用されており、このクライオポンプの売上増加にも努めてまいります。そして、幅広い用途にカスタマイズ可能なリークテスト装置やニーズが拡大している表面分析装置等の拡販にも積極的に取り組んでまいります。

2025年6月期の売上高については、これらの市場動向に加え、当社グループの前期末受注残高も1,450億円であることから、上記の単年度目標は達成できるものと見込んでおります。また、利益面についても、収益性が高い半導体及び電子部品製造装置の売上比率増加による利益率改善の効果が期待できます。それと同時に、成長ドライバー等の更なる強化を図るべ

く、2025年6月期は研究開発設備投資として105億円、研究開発費として140億円、合計245億円の投資を予定しています。

中期経営計画の目標達成に向けて、重点戦略に着実に取組みつつ、持続的な成長を目指します。

株主の皆様にお伝えしたいこと

当社は、成長領域への十分な研究開発投資資金を確保するとともに、安定的財務基盤を構築し維持する必要があります。一方で、株主の皆様への利益配分も重要な政策の一つと考えております。そこで、2024年6月期より、連結配当性向を更に引き上げて35%以上を目途とすることとし、株主の皆様への2024年6月期の期末配当は、前期比35円増配の1株当たり144円としております。引き続き、当社は株主の皆様への還元に努め、2025年6月期の期末配当は、1株当たり164円を予定しています。

当社グループは一丸となって、中期経営計画の最終年度の業績目標の達成を目指し、引き続き企業価値を向上してまいりますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2024年6月期から2026年6月期までの3カ年を対象とする中期経営計画を策定しました。その進捗状況をご報告します。

● 中期経営計画目標 (26/6期) : 売上高3,000億円、売上総利益率35%、営業利益 (率) 480億円 (16%) を堅持

基本方針

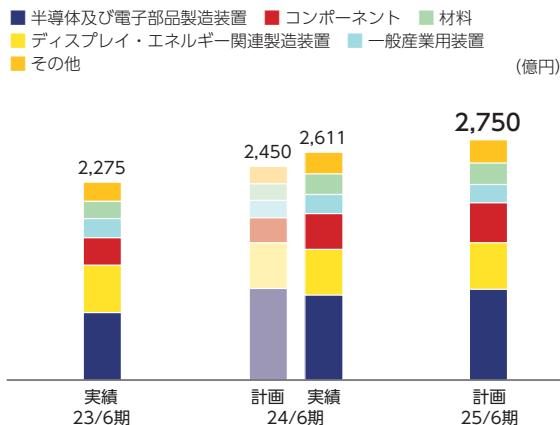
- 真空技術による社会的価値創造
- 利益・資本効率重視の経営

重点戦略

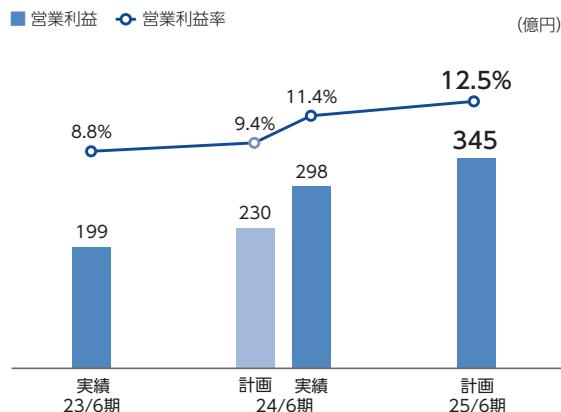
1. 成長事業における製品競争力の強化
2. グローバル生産性の向上
3. 経営基盤の強化

	23/6期 実績	24/6期 実績	25/6期 計画	26/6期 目標
売上高	2,275億円	2,611億円	2,750億円	3,000億円
売上総利益率	29.5%	30.9%	32.4%	35%
営業利益 (率)	199億円 (8.8%)	298億円 (11.4%)	345億円 (12.5%)	480億円 (16%)
ROE	7.3%	9.7%	10.1%	14%

売上高



営業利益 (率)

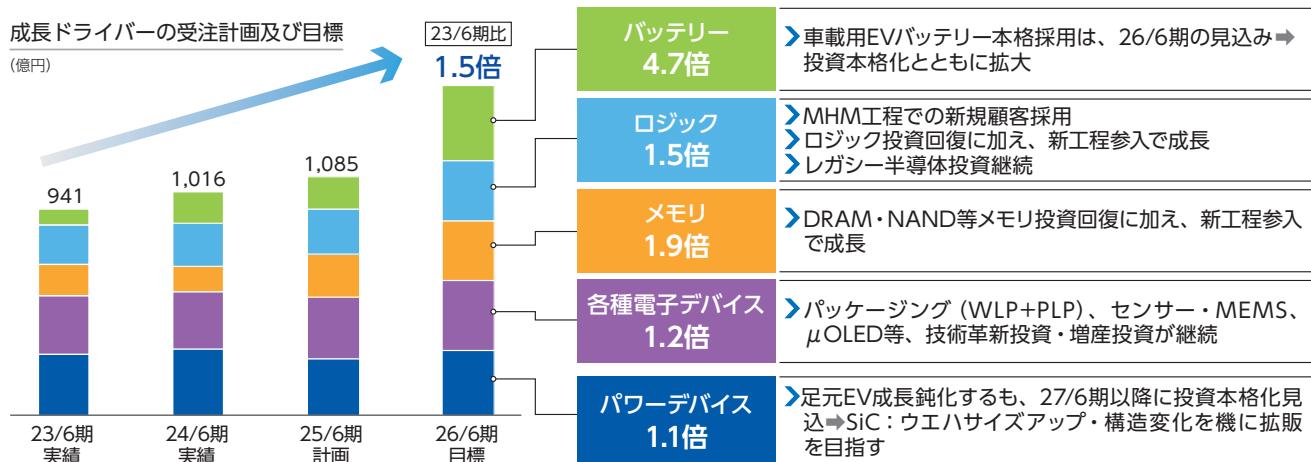


2025年6月期よりFPD製造装置からディスプレイ・エネルギー関連製造装置に名称を変更しました。

成長事業における製品競争力の強化

成長ドライバーの受注計画及び目標

(億円)



モノづくり力強化による生産性向上・利益率改善

- 製品企画力、戦略購買力の強化により、計画的生産体制を拡充させることで生産性向上・利益率改善に繋げる
- 収益性が高い半導体及び電子部品製造装置の売上比率増加による利益率改善の効果を高め、26/6期に売上総利益率35%を目指す

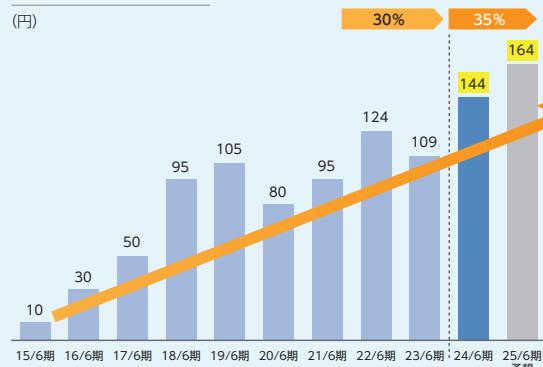
売上総利益率推移



株主還元

- 株主還元を最重要政策の一つと位置づけ、更なる成長により長期的な配当増額を目指す
- 24/6期より業績連動配当性向を35%へ引き上げ、株主還元を拡充
→ 24/6期配当金144円 (前期比+35円) は過去最高

1株当たり配当金推移



取締役



代表取締役社長
岩下 節生



常務取締役
青木 貞男



取締役 (社外)
西 啓介



取締役 (社外)
内田 憲男



取締役 (社外)
石田 耕三



取締役 (社外)
中島 好美

監査役



監査役 (常勤)
森尻 裕二



監査役 (常勤)
齋藤 一也



監査役 (社外)
宇都宮 功



監査役 (社外)
本田 宗哉

執行役員

常務執行役員
島田 鉄也

常務執行役員
清水 康男

常務執行役員
申 周勲

常務執行役員
清田 淳也

上席執行役員
佐藤 重光

上席執行役員
近藤 智保

上席執行役員
萩之内 剛

上席執行役員
衣川 正剛

上席執行役員
高橋 信次

執行役員
金 善吉

執行役員
原 泰博

執行役員
岩井 治憲

執行役員
岩澤 宏明

執行役員
磯 佳樹

執行役員
楊 秉君

執行役員
吳 東嶸

執行役員
高橋 明久

会社データ／株式の状況

会社概要 2024年6月30日現在

商号 株式会社アルバック
ULVAC, Inc.

商標 ULVAC

本社 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地

設立 1952年8月23日

資本金 20,873,042,500円

従業員数 1,680名(連結6,234名)

株式の状況 2024年6月30日現在

発行可能株式総数 100,000,000株

発行済株式の総数 49,355,938株

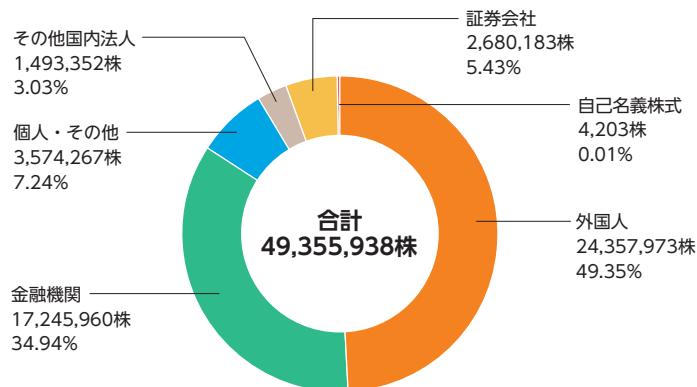
株主数 10,188名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,485	13.14
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,239	8.59
日本生命保険相互会社	3,242	6.57
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS-GLOBAL TECHNOLOGY POOL	2,980	6.04
TAIYO FUND, L.P.	2,071	4.20
JPモルガン証券株式会社	1,791	3.63
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,627	3.30
TAIYO HANEI FUND, L.P.	1,292	2.62
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,262	2.56
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505038	1,259	2.55

(注)持株比率は自己株式(4,203株)を控除して計算しております。

所有者別株式数



株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	9月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 6月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00 (土・日・休日を除く)

住所変更など諸手続のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。三井住友信託銀行株式会社への
手続用紙(住所変更・買取請求・配当金振込指定など)のご請求
ホームページアドレス
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

配当金のお受け取り方法について

配当金を配当金領収証でお受け取りの株主様には、確実に配当金をお受け取りいただける預金口座や証券会社の口座への振込みによる配当金のお受け取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。

IRカレンダー

定時株主総会

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	第2四半期 決算発表			第3四半期 決算発表			通期 決算発表			第1四半期 決算発表	



ウェブサイトのご案内

① 企業情報はこちら <https://www.ulvac.co.jp/>



② IR情報はこちら <https://ir.ulvac.co.jp/ja/ir.html>



本事業報告書に記載されている当社の現在の計画・戦略及び予測については、現在入手可能な情報に基づき、当社が現時点で合理的であると判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因により本事業報告書の内容とは異なる可能性のあることをご承知おきください。

ULVAC 株式会社アルバック

本社・工場
〒253-8543 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
TEL.0467-89-2033

